

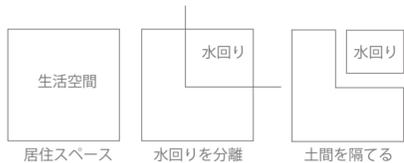


手間 + 変化 + 温かみ = 原体験

都市生活で失われつつあった自然との関わり、非効率的な生活、人との親密な関わりなどもう一度人間の生活にとっての原点に立ち返り体験し、生活していくことが効率重視の今までの生活に余白を生み出し、暮らしが充実するのではないだろうか

01. 手間

土間で分けられた生活空間



土間を居住スペースに侵入させることで生活空間を間仕切りの使用を少なくして生活空間を分けることができる。ワーケーション利用者がいることから、共有の水回りの部分を土間で囲むように分けることで独立性を高め、プライベートな空間と分けるようにした

立地による不便さ



都市部と離れており、移動する手段としては車が路線バスであり時間もかかる。しかしその手間があることで自然豊かな場所で生活することができる

02. 変化

季節の変化



周囲環境が自然豊かなため、季節により花が咲いたり、葉が色付いたり、栽培していた野菜の種類が変化し味覚で季節の変化を感じることができる

素材の変化



既存部材と新しく使用した木材の色の違いや、経年変化の違いなど対比の対象を作り出すことで素材の変化をわかりやすくする

ワーケーション利用者との交流



ワーケーション利用者がこの集落に来ることで周りに住んでいる人々との交流が生まれ、地域に活気があふれる

03. 温かみ

オープンキッチン



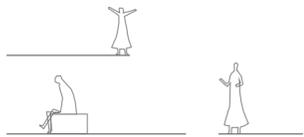
オープンキッチンを増築1階ピロティ部分に作ることで周りに住んでいる人たちが食材や料理を持ち寄って一緒に料理をしたり、食事を楽しんだりすることができる。それにより、集落の人々との交流が生まれ交流の起点となるようにする

木のぬくもり



木の素材や質感を大事にし、それをむき出しで使用することで木の素材感を全面的に表し、木のぬくもりあふれる暖かな住宅にしている

間仕切りの少ない空間



間仕切り壁を少なくすることで視線が通りやすく、存在感が伝わりやすくなる。そのため、人のぬくもりが感じることができる

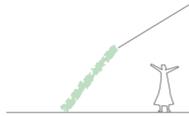
環境への配慮

ソーラーパネル



南側の屋根を既存の屋根よりも伸ばすことで太陽の光が一番当たる南側の屋根の面積を広く確保し、ソーラーパネルを設置することで電気を発電し自給自足で賄えるようにする。

植物の利用



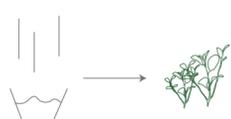
緑のカーテンを設置することで直射日光を避け、表面温度を可能な限り下げることにより空調を使用せずに快適に過ごせるようにする

木材の再利用



撤去した木材を建具や棚の材料として再利用することで、木の循環を生み出す。それに加えて、新しい木材との対比を生み出すことで一目で時の流れが感じられる

雨水の利用



雨水を家庭菜園の水として再利用することで水道の水を使うことなく植物を育てることができる

ワーケーションを受け入れる

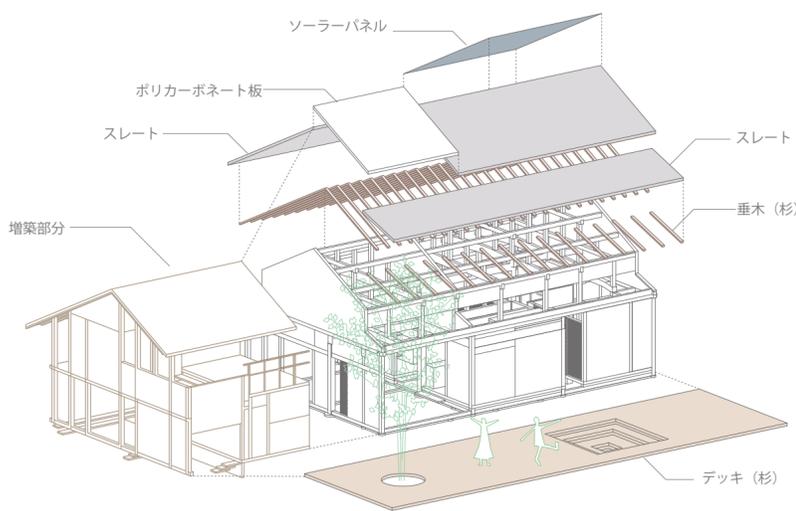
近年「テレワーク」や「ワーケーション」といった働き方の多様性が生まれてきた。そのため、ワーケーションをする人を受け入れることができる部屋を用意し一緒に生活をする。そして、集落の人々との交流を生み出し、交流の起点の場所となるようにする



素材と構成

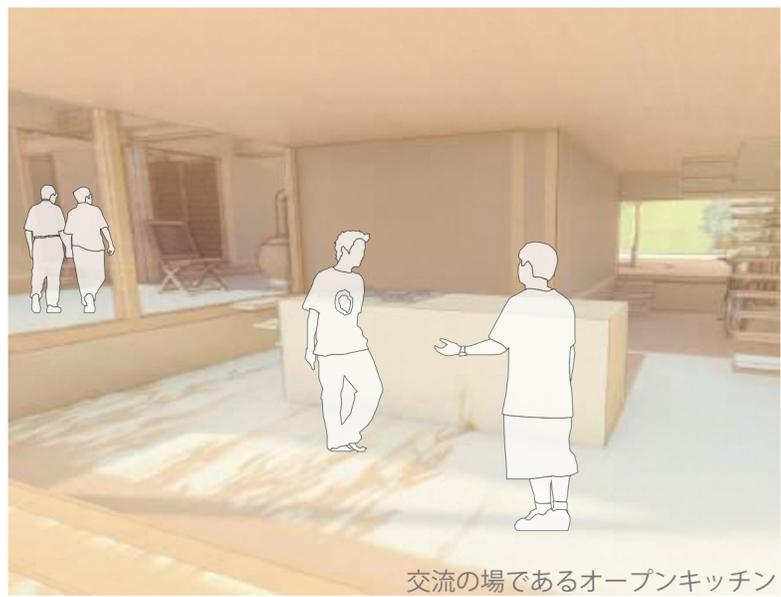
既存建物の東側に増築を行う。1階部分はオープンキッチンを含むピロティ空間と父親の書斎、荷物置き場がある。2階部分にはワーケーション利用者用の部屋とテラスを設けた。それに加え、北側には大きなデッキを設けた既存部分の屋根は形状を変え、南側にはソーラーパネルを設置。通り抜けられる土間空間がある北側の屋根はポリカーボネートで光だけを入れるようにした

A-A' 断面図 S=1:100





家庭菜園の畑



交流の場であるオープンキッチン

平面図 S=1:100



1階平面図兼配置図 S=1:100



日影が心地よいデッキ



2階平面図 S=1:100

既存の柱や梁を隠すことなく全面的に見せることで開放感が増し、軸組特有の繊細かつダイナミックな空間が広がる。縁側代わりのデッキでは父親の趣味であるアウトドアが楽しめる。ワーケーション利用者用の部屋は必要最低限の機能しか持っておらず水回りのほとんどは共有である。リビングダイニングの上にはロフトが設けられ、子供たちが家族の存在感を感じながら遊ぶことができる。父親の書斎は通り抜けできる土間を挟んであり、仕事との切り替えを助け、外に出て気分転換したいときは書斎から直接出ることができる



緑が見えるワーケーション利用者用の部屋



木のぬくもり感じるリビング



ちょっとした秘密基地のロフト



デッキにつながる書斎



麻の葉模様の格子戸

南立面図 東立面図 S=1:100

